

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中村 紀子
	全体計画	令和 5年度	～	経費区分	－	内線	3622
事務事業名	4314 文化財調査研究事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	14011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	010000 文化財調査研究事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。国の重要伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業を進め、町並みの保存活用を図る。				埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また、文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等により文化財の保護を行うとともに、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。また歴史的町並み保存・活用のため、国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置する。地域の合意形成に向けた説明会や戸別訪問を本格的に実施する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の適切な保護に努めた。また重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の新指定等を進める。重伝建選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置し地域の合意形成に向けた説明会や戸別訪問を実施する。
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		31,101	27,054
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,312	72
一般財源		28,789	26,982
人員数(人)	正規職員	1.0	0.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	1.4	1.9
人員コスト	正規職員	6,968.0	4,877.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	2,349.2	3,188.2
	計	9,317.2	8,065.8
市民一人当たりの経費		0.8	0.7
総額		40,418.2	35,119.8

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	143	調査指導等謝礼143
10節 需用費	1,023	埋蔵文化財等消耗品447、食糧費8 調査記録写真81、燃料費195、埋蔵文化財整理室光熱水費213、修繕費49
12節 委託費	4,948	遺構測量委託1,707、発掘調査に係るシルバー委託費2,517、伝建保存対策資料屋根伏図作成委託495、文化財説明看板設置205、コピー機保守24
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2	文化財保護協会負担金2
その他	24,985	会計年度任用職員報酬・手当19,211、重機等借上料4,541 ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	400	伝建関係調査指導謝礼297、文化財調査指導等謝礼103
10節 需用費	1,313	埋蔵文化財伝建等消耗品600、調査記録写真30、埋蔵文化財整理室光熱水費335、修繕費150、燃料費190、食糧費8
12節 委託費	4,723	発掘調査に係るシルバー委託費2,500、遺構測量2,000、文化財説明看板設置187 ほか
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	102	文化財保護協会負担金2、県立歴史館連携協定負担金100
その他	20,516	会計年度任用職員報酬・手当14,451、重機等借上料4,000 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事に伴う埋蔵文化財の調査確認については、行政が重要な役割を担っており、かつ法的にも実施しなければならない事業である。また、重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指す取組は「文化・歴史を大切にしまちづくりの推進」という目標に大きく寄与している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	埋蔵文化財の調査を実施し、適切な保護が図られた。また、重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進め、地元への説明会を実施した。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性の向上に努めているが、埋蔵文化財の調査と保護には人件費のほか大型重機の使用など多額の費用がかかる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財に関わる業務は特に専門的知識を要するものであるため、長期的な人員の育成と確保が必要である。 伝統的建造物群保存地区の選定を目指すことについて、地域住民の意識の高まりが課題となっている。
--

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
<p>条例制定により今後の保存審議会立ち上げによる範囲決定や、住民の理解を得る段階へ進む必要がある。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
<p>伝統的建造物保存地区の指定に向け、抜本的な取組方法の見直しが必要。埋蔵文化財の調査結果を学びに活かしていく必要がある</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	